

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年8月12日提出

【会社名】 ファイザー・インク
(Pfizer Inc.)

【代表者の役職氏名】 上席副社長兼秘書役、チーフ・ガバナンス・カウンセル
マーガレット・M. マデン
(Margaret M. Madden, Senior Vice President and Corporate
Secretary, Chief Governance Counsel)

【本店の所在の場所】 アメリカ合衆国10017-5755 ニューヨーク州
ニューヨーク、イースト42番ストリート 235
(235 East 42nd Street, New York, NY 10017-5755, U.S.A.)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 松 添 聖 史

【代理人の住所又は所在地】 東京都港区六本木1-9-10
アークヒルズ仙石山森タワー28F
ペーカー & マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)

【電話番号】 (03) 6271-9900

【事務連絡者氏名】 弁護士 渡 邊 大 貴

【連絡場所】 東京都港区六本木1-9-10
アークヒルズ仙石山森タワー28F
ペーカー & マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)

【電話番号】 (03) 6271-9900

【縦覧に供する場所】 なし

(注) 別段の記載がある場合を除き、本書に記載の「米ドル」は米国ドルを指す。本書において便宜上記載されている日本円への換算は、1米ドル=138.51円の換算率(2022年7月21日現在の株式会社三菱UFJ銀行における対顧客電信直物売買相場仲値)により換算されている。

1 【提出理由】

2022年5月9日、デラウェア州の会社であるファイザー・インク（以下「当社」又は「ファイザー」という。）は、英領ヴァージン諸島の法に基づき設立された英領ヴァージン諸島の有限責任株式会社であるバイオハイブン・ファーマシューティカル・ホールディング・カンパニー・リミテッド（以下「バイオハイブン」という。）及び英領ヴァージン諸島の法に基づき設立された英領ヴァージン諸島の有限責任株式会社でありファイザーの完全所有子会社であるブルドッグ（BVI）リミテッド（以下「買収会社」という。）と、合併契約及び計画（以下「合併契約」という。）を締結した。合併契約に従い、合併契約の条項に基づき、かつ合併契約の諸条件を条件として、買収会社はバイオハイブンに吸収合併され（以下「本合併」という。）、買収会社は独立した会社として存在しなくなり、バイオハイブンが本合併における存続会社となり、引き続きファイザーの完全所有子会社として英領ヴァージン諸島の法に基づき統治されることになる。

したがって、当社は、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2及び第16号の2の規定により、本臨時報告書を提出するものである。

2 【報告内容】

(イ) 取得対象子会社についての事項

(1) ファイザー及び買収会社の取締役会により、バイオハイブンの買収が決定、承認された。買収会社に関する情報は以下の通りである。

名称	ブルドッグ(BVI)リミテッド
住所	アメリカ合衆国10017 ニューヨーク州ニューヨーク、イースト42番ストリート 235
代表者の氏名	氏名：マーガレット・M. マデン 役職：上席副社長兼秘書役、チーフ・ガバナンス・カウンセル

(2) 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	バイオハイブン・ファーマシューティカル・ホールディング・カンパニー・リミテッド (Biohaven Pharmaceutical Holding Company Ltd.)
本店の所在地	アメリカ合衆国06510 コネティカット州ニュー・ヘイブン、チャーチ・ストリート215 (215 Church Street, New Haven, Connecticut 06510, U.S.A.)
代表者の氏名	氏名：ヴラッド・コーリック 役職：取締役会会長兼最高経営責任者
資本金の額 (株式資本及び資本剰余金) (2021年12月31日現在)	1,846,448千米ドル(255,751,512千円)
純負債の額 (2021年12月31日現在)	(743,009)千米ドル((102,914,177)千円)
総資産の額 (2021年12月31日現在)	1,077,212千米ドル(149,204,634千円)
事業の内容	希少疾患を含む衰弱性神経疾患及び精神神経疾患の患者の生活を改善する革新的な高度治療薬のポートフォリオを有する商業段階のバイオ医薬品企業

* 上記の財務情報は、2022年2月25日付で米国証券取引委員会にバイオハイブンのForm 10-K（以下「バイオハイブンForm 10-K」という。）により提出されたバイオハイブンの連結貸借対照表から抜粋した。「事業の内容」の情報は、バイオハイブンForm 10-Kの「Item 1. Business」から抜粋した。

(3) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(連結ベース)			
	(単位：千米ドル(千円))		
	2021年12月31日 に終了した年度	2020年12月31日 に終了した年度	2019年12月31日 に終了した年度
売上高	462,509 (64,062,122)	63,627 (8,812,976)	- (-)
営業損失	(704,044) ((97,517,134))	(645,388) ((89,392,692))	(479,122) ((66,363,188))
税引前損失	(843,323) ((116,808,669))	(758,388) ((105,044,322))	(528,386) ((73,186,745))
純損失	(848,396) ((117,511,330))	(768,615) ((106,460,864))	(528,805) ((73,244,781))

* 上記の財務情報は、バイオハイブンForm 10-Kから抜粋した。

(4) 提出会社（ファイザー）及び当該連結子会社（買収会社）との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	ファイザーはバイオハイブンの普通株式の2.6%を所有している。
人的関係	現在、ファイザー（買収会社を含む。）とバイオハイブンの間には人的関係はない。
取引関係	2021年11月の提携・ライセンス契約及び関連するサブライセンス契約に基づき、ファイザーはリメゲパント（Rimegepant）及びザベゲパント（Zavegepant）を米国以外の全世界で独占的に商業化する権利を有している。

(ロ) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

この買収案には、バイオハイブンのリメゲパント、ザベゲパント及び5つの前臨床カルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）資産を含む、CGRPプログラムの買収が含まれる。バイオハイブンの買収は、複雑な疼痛疾患や女性に偏って影響を与える疾患を抱える患者に画期的な製品を提供してきた当社の従来からの資産をさらに発展させるものと期待されている。

(ハ) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

約116億米ドル（1兆6,067億円）

以上